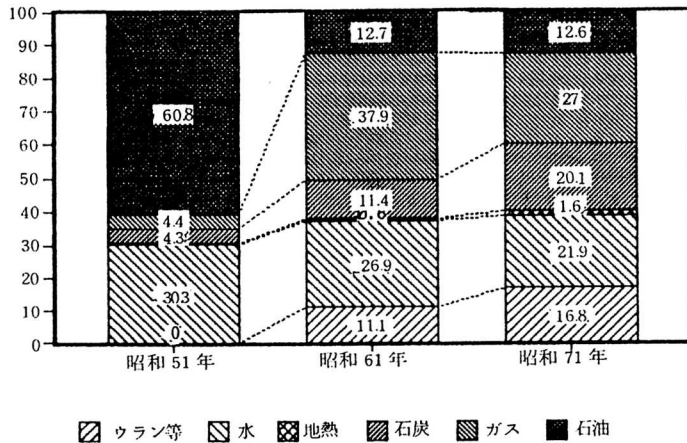


③ 発電と資源

かぎりある資源を大切につかう必要があります。発電では、大きく2つに分けられます。水力発電や地熱発電のように自然の力を利用する方法と、原子力、火力発電のように、

発電に使う資源

(昭和71年については、推定)



ウラン、石油、石炭などの地下資源を利用する方法です。

水力、地熱発電は、けむり、におい、ねんりょうの心配はありませんが、発電量が少なかったり、発電所を作る場所が山の中になりするなどの問題があります。

(東北電力パンフレットより)

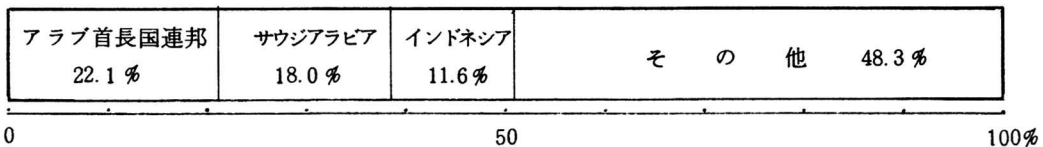
また、原子力、火力発電

では、発電量は大きいのですが、地下資源の心配があります。

そこで、新しい発電として太陽の光、風の力、波の力を利用した発電の研究も行われています。

石油やガスなどの地下資源は、ほとんど外国から輸入しています。発電以外にも石油は多くのことに利用されています。

原油の輸入先



(経企庁経済白書1987)